

# 日本消防



●ラジオ番組「おはよう！ニッポン全国消防団」好評放送中！

2  
2021



## 「大阪の心臓 摂津市民の 安全安心を守るために」



摂津市消防団 団長 勝 正雄

### 1 摂津市の紹介

昭和41年11月に大阪府下28番目の市として誕生した「摂津市」は、大阪平野の北部に位置し、面積14.87平方キロメートルで、ハートの形をしています。市の南側には、琵琶湖からの水を大阪湾へ運ぶ一級河川淀川が流れ、四季を通じて穏やかな自然条件に恵まれています。

### 2 摂津市消防団の紹介

摂津市消防団は、令和2年12月1日現在、32分団393名の消防団員で組織されています。市域を4つの地区に分け、鳥飼地区9分団、味生地区5分団、味舌地区8分団、千里丘地区7分団、そして市内事業所の自衛消防隊をそのまま1つの分団とした機能別消防分団3分団で活動しております。

### 3 摂津市消防団の活動

摂津市消防団では、毎年4月1日に団全体での人事異動を行っており、新たな体制でのスタートを辞令交付式と共に迎えます。5月には全ての消防団員を対象とした「摂津市消防団員訓練」を実施、6月には「消防（本部・団）幹部合同研修会」を実施し、消防職員と消防団員の知識・技術の向上、連携の強化に努めています。また、8月の摂津まつりや3月の防火フェアでは、子供たちが防火衣を着て消防車と写真を撮影でき

るブースを設置する等、高い防災意識を持ちながら、市民に寄り添った活動を行う地域密着型の消防団を体現しています。その活動は年末年始においても気を緩めず、年末から大みそかにかけては歳末非常警戒により、寒空の下深夜まで火災の警戒に当たるとともに、火の用心の掛け声で防火啓発を行い、摂津市の安全安心を守っています。また、年始の摂津市消防出初め式において、式典中に実施される摂津市消防団の全32分団による一斉放水は圧巻の見応えです。



摂津まつり 消防団写真ブースの様子



摂津市消防出初式 一斉放水の様子

## 4 摂津市消防団の取組み

### 機能別消防分団の創設

摂津市消防団では、平成22年1月1日から、機能別消防分団の運用を開始しました。その背景には、消防団員のサラリーマン化が進む中、平日昼間帯における、参集率の低下、消防力の低下を懸念がありました。平成21年当時、摂津市の消防団員数は336名でしたが、その内の約8割が被雇用者でした。さらには、市外に勤務されている方も多く、平日の昼間帯の消防団運用が課題となっていました。その解決策として、摂津市消防団は機能別消防団員の制度化を実施しました。これは、市内の自衛消防隊を有する事業所の協力を得て、ポンプ車等の装備を含め、自衛消防隊をそのまま一つの分団と位置づけ、運用を行うという施策です。市内で自衛消防隊を持ち、かつ、消防車両を保有する事業所に協力を要請したところ、『芦森工業株式会社本社・大阪工場』『株式会社カネカ大阪工場』『ダイキン工業株式会社淀川製作所』の3つの事業所の協力が得られ、それぞれアシモリ分団、カネカ分団、ダイキン分団として活動いただくこととなりました。費用については「年間報酬」「費用弁償」「退職報償金」の全てに辞退の申し出があり、装備については化学車やポンプ車を含む全てが自衛消防隊のものです。高い消防力を有した機能別分団には、圧倒的な費用対効果で安全安心の街づくりにご協力いただいております。

### 進化し続ける消防団として

摂津市消防団では、現場からの意見を効率よく反映させるため、最前線で活動する消防団員で構成された委員会「摂津市消防団活性化計画 実施計画検討委員会」を設置しています。この委員会は、活動方針や必

要な装備、実施すべき訓練等を議論し、その声を消防団幹部に届けることで、移り変わる環境に消防団を的確に対応させるための委員会です。最近では、消防団は地震や台風等、様々な災害に対応する必要があるとの声が上がリ、火災はもとより、地震や台風の際の活動内容をまとめた『摂津市消防団活動マニュアル』を作成しました。防火に限らず、あらゆる防災意識を高めながら、地域を守っていきたいと考えています。

### 新型コロナウイルス感染症への対応

摂津市消防団では、新型コロナウイルス感染症に対し、基本的な感染防止策は当然実施しつつ、柔軟な対応で日頃の訓練を継続し、消防力の維持・向上に努めています。また、令和2年4月からは従来ペーパーベースでの提出が必要であった火災や訓練等の出勤報告書をweb入力可能とし、接触の機会を減らすなど、先進的な取組も実施しています。

※写真は新型コロナウイルス感染症が流行する以前のものを使用しています。